

事務事業評価調書

事務事業名	審査事務				
担当部名	会計室	室課名	会計室	室課長名	岩田 恵

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	収入役制度の見直しに伴い規則改正「収入役(特別職)」から「会計管理者(一般職)」へ											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	1地方自治法第170号、地方自治法施行令第168条の2他 2所得税法第6条、地方税法第321条の4他													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	1支出に伴う負担行為、支出命令書他各種伝票、支出命令者、債権者 2職員給与等の源泉徴収に係る所得税及び特別徴収に係る住民税、職員等税徴収対象者、国・地方公共団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	1各種伝票に誤りがないか、適正かを審査する。不備があれば指摘し、適正な状態にさせる。 2毎月の所得税、住民税について誤徴収がないように精査する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	1債権者への支払い、適正な予算執行、より円滑で効率的な会計運営に資する。 2納税義務者として適正に徴収・納付を行っている。												
(7)	事業概要	1支出に伴う負担行為、支出命令書他各種伝票について審査する事務 2職員給与等の源泉徴収に係る所得税及び特別徴収に係る住民税の納付に関する事務 (一部年末調整事務含む)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	14	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		142	129	123	123	132							
		人件費	職員数	人	4.00	4.25	4.00	4.00	5.00						
			総額(B)	千円	33,200	33,775	33,408	33,408	40,850						
		総事業費(A+B)		33,342	33,904	33,531	33,531	40,982							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		33,342	33,904	33,531	33,531	40,982							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		33,342	33,904	33,531	33,531	40,982						
財源計(C+D)		33,342	33,904	33,531	33,531	40,982									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 1支出命令書処理件数、負担行為の確認件数、審査相談・指摘件数他 2職員数、臨時雇用員数、税納付書枚数他	目標値	(単位:件)	0.00	342,285.00	0.00
			実績値	(単位:件)	323,095.00	342,285.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	処理依頼を受けた帳票等について全て処理を行うことから算定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.10
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.10
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
				目標			
				達成状況	成果指標の設定は困難		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		審査事務については地方自治法により、実施が定められた業務であり継続が必要であると考えます。				

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	審査事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00787				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	会計室	事務事業番号	00787
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

今年度より通常の審査事務に加えて、吹田市が謝礼や報酬等を支払いしている講師や委員等の個人番号の収集を行うことにより、平成27年10月1日から始まったマイナンバー制度に対応した。
 また、平成28年度に稼働予定の人事給与システム再構築や、平成29年度実施予定の非常勤職員の住民税特別徴収のために、業務フローの見直しを行った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>適正な会計事務の確保のため、担当従事職員の外部研修への参加を積極的に行うとともに、庁内経理担当職員向けの会計事務研修を全体的に見直し実施した。また、事務マニュアル、FAQなどを改善することにより、職員の能力向上を図ることで審査業務負担の軽減に取り組んでいる。</p> <p>職員給与等の源泉徴収に係る所得税及び特別徴収に係る住民税の納付に関する事務及び年末調整事務については、平成28年9月稼働予定の人事給与システム再構築所管と調整し、効率的に処理できるシステムを整備することが適切であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	出納管理事務				
担当部名	会計室	室課名	会計室	室課長名	岩田 恵

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	収入役制度の見直しに伴い、規則改正。「収入役」から「会計管理者」へ。											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	地方自治法第170号、地方自治法施行令第168条の4他													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	1. 納入義務者、債権者、金融機関等 2. 現金出納関係各帳票												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	法令、規則に基づき、収入支出の効率的な執行を図り、帳票の保管等事務を適正に行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な会計事務により、市民の信頼性維持に資する。												
(7) 事業概要	1. 歳計現金、歳入歳出外現金、運用基金等の収入額、支出額の把握 2. 積立基金の運用 3. 現金及び有価証券の出納、保管、記録 4. 指定金融機関、収納代理金融機関に対する検査													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	14	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,204	1,076	1,079	1,079	1,044							
	人件費	職員数	4.00	3.75	4.00	4.00	4.00							
		総額(B)	千円	33,200	29,802	33,408	33,408	32,680						
	総事業費(A+B)		34,404	30,878	34,487	34,487	33,724							
	特定財源(C)		2	2	2	2	2							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	2	2	2	2	2							
	市負担(D)		34,402	30,875	34,485	34,485	33,722							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		34,402	30,875	34,485	34,485	33,722								
財源計(C+D)		34,404	30,877	34,487	34,487	33,724								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 収入小票(ゆうちょ銀行取扱分含む)処理件数他	目標値	(単位:件)	0.00	1,545,835.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	1,588,673.00	1,545,835.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.02	0.02			
			一般財源(単位:千円)	0.02	0.02			
	②	指標内容 口座振込、納付書払等支払処理件数他	目標値	(単位:件)	0.00	688,360.00		0.00
			実績値	(単位:件)	669,450.00	688,360.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
目標値の積算方法 処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.05	0.05				
		一般財源(単位:千円)	0.05	0.05				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	適正な会計事務を行うことにより、市民からの信頼が得られている。			達成状況	成果指標の設定は困難	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明							

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	出納管理事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00788				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	会計室	事務事業番号	00788
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

正確かつ迅速な会計事務を行うとともに、公金の適正な管理、余剰資金の安全かつ有利な運用に努めている。
平成27年度は収納方法の変更を行い、事務の効率化を図るとともに、速やかに支払資金の準備ができるように改善した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>当事務事業の現金や有価証券の出納及び保管・記録、小切手の振出しは、地方自治法により会計管理者の職務権限として定められた業務であり、また指定金融機関等の検査は地方自治法施行令で定められた業務である。そのため、適正な管理事務の確保に努めるために、経理担当職員向けの会計事務研修を開催するなど、職員の能力向上に向けた取り組みを行っている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	物品管理事務				
担当部名	会計室	室課名	会計室	室課長名	岩田 恵

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明		改正 内容	吹田市財務規則 効率的な物品管理を行うため各室課に物品出納員、物品取扱員を設置。 吹田市物品分類基準 備品の価格、及び重要物品の価格を変更。										
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	地方自治法第170号、地方自治法施行令第170条の4他													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために		節	4	細節	0						
(6) 目的	対象 (誰を、何を)		区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他								
	範囲等		備品、他の購入物品、事務用品 物品出納員、物品取扱員											
	目標 (どういう状態にしたいのか)		法令、規則等に基づく、適正な物品の出納、備品の出納状況記録、管理等を行う。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)		適正な会計の執行、円滑で効率的な会計運営により、市民の信頼性維持に資する。											
(7) 事業概要	物品出納員、物品取扱員に対する物品の出納や保管に関する事務の指導等、備品管理に関する事務及び会計室に返納された備品の不用品処分に関する事務													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	14	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		239	72	175	175	176							
	人件費	職員数	人	0.50	0.26	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	2,067	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,389	2,139	4,351	4,351	4,261							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,389	2,138	4,351	4,351	4,261							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		4,389	2,138	4,351	4,351	4,261						
財源計(C+D)		4,389	2,138	4,351	4,351	4,261								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先		①										
				②										
				③										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		①									
					②									
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 備品受入異動関係帳票処理件数等	目標値	(単位:件)	0.00	2,146.00	/
			実績値	(単位:件)	3,146.00	2,146.00	
		達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.29	2.03		
			一般財源(単位:千円)	1.29	2.03		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	法令、規則等に基づく適正な備品の出納状況記録、管理、適正な会計の執行、円滑で効率的な会計運営の効果により、市民の信頼が得られる			達成状況	成果指標の設定は困難
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		財務会計システム再構築により備品関係の電子決裁事務について、問合せ等に対応した。電子決裁に特化した研修を実施した。機構改革に伴う備品の処理を財務会計システムを使用して行った。				

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	物品管理事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00789				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	会計室	事務事業番号	00789
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

管理備品の貸出業務の他、物品出納員、物品取扱員に対し物品会計事務について文書による指導等を行った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>法令で定められた備品の保管事務及び記録管理、出納員その他会計職員に対する連絡及び指導、適正な物品事務の確保のため庁内経理担当者向けの会計事務及び電子決裁事務研修を開催するなど、職員の能力向上に取り組んでいる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	財務会計システム事業				
担当部名	会計室	室課名	会計室	室課長名	岩田 恵

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	財務会計システム											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	WEB方式による財務会計システムの再構築及び大阪府モデルによる公会計システムの導入 クライアントOSがwindows7でもシステムが利用可能になる。大阪府モデルの公会計導入により、財務情報をマネジメントに活用することが可能になる。												
(7) 事業概要	財務会計システムのサブシステム及び公会計システムの導入並びにシステムの保守運用													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	20	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		186,100	185,982	54,994	54,968	16,459							
	人件費	職員数	人	1.50	1.70	0.95	0.95	1.00						
		総額(B)	千円	12,450	13,510	7,935	7,935	8,170						
	総事業費(A+B)		198,550	199,492	62,929	62,903	24,629							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		198,550	199,492	62,929	62,903	24,629							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		198,550	199,492	62,929	62,903	24,629								
財源計(C+D)		198,550	199,492	62,929	62,903	24,629								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	富士通(株)関西支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		財務会計システムの保守運用											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 進捗管理に係る会議(資料配布含む)の開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	27.00	26.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 定例の会議のほか、仕様の変更に係る会議等の予見できない会議体も含まれるため、目標値は設定できない	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7,329.74	2,419.35		
			一般財源(単位:千円)	7,329.74	2,419.35		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 稼働したサブシステム数	目標値	(単位:個)	4.00	1.00	/
			実績値	(単位:個)	4.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 業務のスケジュールから当該年度中に稼働すべきサブシステム数を算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	49,475.75	62,903.00		
			一般財源(単位:千円)	49,475.75	62,903.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		計画どおり新公会計サブシステムの帳票作成機能等を含む5サブシステムの稼働を達成した。事業は開発から保守運用に移る。				

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	財務会計システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00790				

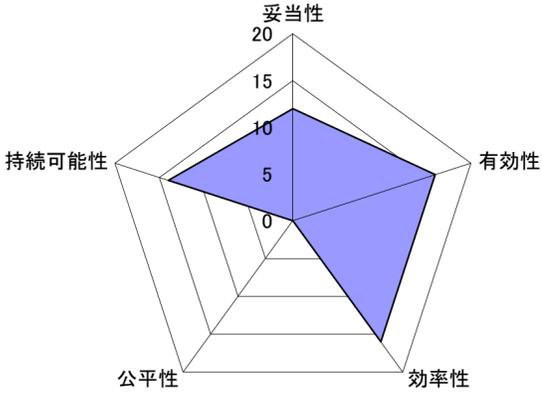
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	72	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	会計室	事務事業番号	00790
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画どおり新公会計サブシステムの帳票作成機能等を含む5サブシステムの稼働を達成した。事業の中核は開発から保守運用に移る。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)